

令和 5(2023)年版 琉球大学 大学院医学研究科・医学部・病院 研究概要 様式

講座・分野等：感染症・呼吸器・消化器内科学講座

A. 研究課題の概要	あり
B. 研究業績	あり
C. 受入研究費による研究課題	
1. 日本学術振興会 科学研究費助成事業による研究	あり
2. 厚生労働省からの受託研究	あり
3. 日本医療研究開発機構（AMED）による研究	あり
4. その他の公的機関からの研究費	あり
5. その他の民間機関からの研究費	あり
D. 研究成果による産業財産権	
・ 出願	あり
・ 取得	あり
E. ベンチャー企業の立ち上げ	なし

A. 研究課題の概要

感染症グループ

1) 呼吸器感染症の病態・疫学・治療に関する研究

感染症診療では原因微生物の同定が重要である。当科では multiplex PCR やマイクロチップ電気泳動装置など分子生物学的手法を駆使して、各種細菌、ウイルス、非定型病原体などの検出に努めている。

呼吸器ウイルスに関しては 2012 年、ヒト・メタニューモウイルスの長期療養施設内アウトブレイクを診断し、血液データや画像所見などの臨床データを解析し、成人におけるヒト・メタニューモウイルス感染症の臨床像を明らかにして論文化した。また、2014 年には当院の血液内科病棟で発生した RS ウイルスのアウトブレイクを証明し、系統樹解析も含めて論文化した。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) においては、厚生労働省からの緊急承認を得るためのウイルス検出キットの性能評価や、multiplex PCR 法を用いた変異株の迅速同定法の有用性、パンデミック下の各種呼吸器ウイルス検出状況の解明などに取り組んだ。また最近では、オミクロン株流行期に沖縄県内の医療機関に入院した COVID-19 患者を対象に、臨床像や重症化因子を評価する臨床研究も行っている。

結核、非結核性抗酸菌 (NTM) に関する臨床・基礎研究も行っており、前者に関しては関連病院と共同で活動性肺結核の診断に有用な血清マーカーの探索的研究を行い論文化した。また、後者に関しては沖縄県内の 15 の医療機関を対象とした肺 NTM 症の原因菌種を調査する疫学研究、臨床像・画像所見を検討する臨床研究を進めている。また、大阪大学微生物病研究所と共同で、リボソーマル MLST 法を基盤とした抗酸菌の迅速かつ正確な同定と薬剤耐性予測システムの開発を行っており、菌種同定法についてはすでに論文化した。現在、インドネシアやモンゴルとの共同研究を進めているところである。さらに、国立感染症研究所や台湾大学などと共同で、*Mycobacterium abscessus* の分子疫学解

析も行っている。

2) HIV 感染症に関する基礎的および臨床的研究

当院はエイズ中核拠点病院としては西日本で最も多い 600 人の患者の診療実績がある。診療では感染症教室として日和見感染症の診断に特に注力しており、臨床検査部および外科や病理部との連携で高い確定診断率を達成し、国内初の症例も多数報告している。臨床研究では、日本における、未だ診断されていない潜在的感染者数を推定するため、国立感染研究所と共同研究を行い、解析を進めている。HIV 陽性者の高齢化によるフレイルに関連した多施設共同臨床研究も進めている。欧州エイズ学会との国際連携を構築しており、ヨーロッパの HIV 専門施設への短期研修制度の整備などグローバルな研修および研究体制を推進している。

3) 院内感染対策

感染対策室と共同して、インフルエンザ対策や種々の院内感染対策について、その有効性を検証している。インフルエンザでは予防内服の評価、百日咳では難しいとされる抗体診断法を論文報告した。また、レジオネラの病院内環境汚染調査も定期的に論文報告している。血液内科病棟での RS ウイルスの集団感染についても、PCR や抗原検査を用いて対応した。

呼吸器グループ

呼吸器では感染症の他に、肺癌、びまん性肺疾患(間質性肺炎)、気管支喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)等さまざまな疾患に関して診療、及び研究を行っている。

びまん性肺疾患(間質性肺炎)の分野では、特発性肺線維症に加え、膠原病関連肺疾患の患者を積極的に診療している。特に急速に進行する症例に関しては集学的な治療が必要であるため他施設からの紹介も多く、

関連ある診療科の協力を得ながら診療にあたっている。研究面ではこれまで、長崎大学を主幹とする早期肺線維症の治療薬に関する共同研究に参加したり、家族性間質性肺炎に関する共同研究(IPF/UIP の遺伝子解析)を行ってきた。今後はまだ明らかになっていない沖縄県全体の間質性肺炎の疫学についても調査を行っていく予定である。

COPD、アレルギー疾患に関しても日常診療に加え軽症、中等症の COPD に対する吸入型トリプル製剤の有用性と安全性に関する臨床研究 (TRACK study) や、重症喘息に対する生物学的製剤の前向き研究に協力するなど積極的に他施設共同研究に参加している。

肺癌は薬物療法の治療成績向上により予後が改善し、治療継続中の患者が増加している。当グループでは、主に進行肺癌患者を担当しており、診断及びステージの決定を行った上で呼吸器外科、放射線科、地域の医療機関とも連携して、最善と考えられる治療を行っている。

研究面では、実臨床を通じた薬物療法の効果・安全性の検討や貴重症例の報告などを行っている。また、県外の肺癌臨床試験グループに属し各種試験の症例集積に努めている。その他、長崎大学を代表とする多施設共同研究として、悪性胸膜中皮腫薬物療法に関する観察研究に参加している。2022 年には、低リスク発熱性好中球減少症の肺癌患者に対するシタフロキサシンの効果・安全性を検討した臨床試験で共著者として論文報告、2023 年には、悪性胸膜中皮腫における放射線併用動注化学療法、ALK 融合遺伝子陽性肺癌の薬物療法に関する検討などの学会報告を行っている。

気管支内視鏡手技においては手術困難な巨大肺嚢胞や肺膿瘍に対する経気管支内視鏡的ドレナージ法を確立し、報告している。また呼吸不全症例に対する High Flow Nasal Cannula 使用下の、気管支鏡の有用性も検証し報告している。

消化器グループ

消化管グループ:

消化管領域の診療面は、年々増加している炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)の中でも、中等症以上を中心に新規患者だけでなく、院外紹介患者も受け入れ、総合的に診療を行っている。また、厚生労働省の「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班の臨床研究にも参加している。消化管(食道・胃・十二指腸・大腸)の腫瘍に対し、拡大内視鏡検査や超音波内視鏡検査を駆使して早期診断に努め、内視鏡治療の適応となる早期癌に対し、積極的に内視鏡的治療を行っている。一方、切除不能進行癌には標準的な抗癌剤治療や集学的治療、緩和治療に努め、必要に応じて外科と連携し、患者とも十分話し合いをしながら最適な治療選択を行っている。また、上部下部消化管内視鏡検査でも原因不明の貧血や抗血栓薬・NSAIDs 内服による小腸出血が疑われる患者に対しては、積極的に小腸カプセル内視鏡検査やバルーン小腸内視鏡検査を行っている。ほかにも家族性大腸腺腫症や Peutz-Jegher 症候群といった遺伝性消化管ポリポーシス家系や家族性地中海熱関連腸炎(MEFV 遺伝子関連腸炎)の症例も遺伝カウンセリングを行いながら診療を行い、症例集積に努めている。食道アカラシアをはじめとした食道運動機能異常による疾患の確定診断のための食道内圧検査や、難治性の胸部症状に対して食道逆流の程度を観察する 24 時間食道内 pH モニタリング検査を行い、診療に努めている。

研究においては、以前より糞線虫症の疫学調査(特徴的な上部下部消化管内視鏡所見の検討)、サイトメガロウイルス活性化と潰瘍性大腸炎の内視鏡学的重症度との関連性、炎症性腸疾患患者における抗 TNF α 抗体製剤血中濃度と臨床病態解析に取り組んでおり、2023 年からは沖縄県特有のピロリ菌の薬剤耐性、離島と本島におけるピロリ菌のゲノム解析(大分大学との共同研究)のために症例を集積し、全国的に発症頻度が最も少ない胃癌との関連性を検討していく。

肝胆膵グループ:

肝臓領域では、診療面では、B 型及び C 型肝炎の抗ウイルス療法や、近年増加が著しい脂肪性肝疾患の進行予防対策、また合併する肝硬変や肝癌の治療を中心に行っている。肝癌においては外科と放射線科と連携し、最善の治療を提供できるようにしている。

高次機能病院として、急性肝不全の内科的治療を集中治療部や血液浄化部の協力もいただきながら行っているが、内科的救命が困難と思われる症例に関してはタイミングを逸することなく肝移植が速やかに施行できるよう外科とも十分連携して診療を行っている。非代償性肝硬変症で肝移植適応症例では肝移植前後の内科的管理を行っている。

また、肝疾患診療連携拠点病院として、肝炎情報センターや沖縄県と連携して市民公開講座や講演会を開催し、一般の方々や医療従事者への肝疾患の情報提供、啓発活動を行っている。さらに沖縄県内の肝炎診療ネットワークを構築し、県内の肝炎診療の底上げを目的として活動している。

胆膵領域では内視鏡的逆行性胆管膵管造影と超音波内視鏡検査を駆使して診断と治療を行っている。特に、超音波内視鏡下穿刺吸引術や胆管・膵管のステント治

療、術後腸管に対してのバルーン内視鏡を用いての検査治療、胆道鏡を用いての電気水圧衝撃波胆管結石破砕や胆管癌の進展範囲の評価などを推進している。胆膵領域の切除不能進行癌には標準的抗癌剤治療、IVRや放射線照射も組み合わせた集学的治療、緩和治療に務めている。

研究面においては、関連病院の健診データを用いて新たな脂肪肝の診断基準である MASLD

(metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease)や Met-ALD において、飲酒や代謝性疾患と肝線維化との関連性の解析を行っている。また D 型肝炎ウイルスの疫学研究、肝生検を施行された脂肪肝患者における肝病態及び肝外合併症の疫学に関する研究など複数の多施設共同研究に参加している。

B. 研究業績

整理番号	研究業績の内容	評価 ランク	査読 有無
著書			
BD23001:	大平哲也, 金城 徹, 金城福則: 沖縄県がん登録事業報告(総論)と今後の取り組み, 沖縄消化器内視鏡会 60 周年記念誌, 11-16, 2023.	(B)	
BD23002:	金城 徹, 大平哲也, 金城福則: 沖縄県の胃がんと大腸がんの現状と課題, 沖縄消化器内視鏡会 60 周年記念誌, 17-27, 2023.	(B)	
BD23003:	山本和子: クラミジア(クラミドフィラ)・ニューモニエ感染症, 今日の治療指針, 208, 2023.	(B)	
原著			
OI23001:	Fujii H, Iwaki M, Hayashi H, Toyoda H, Oeda S, Hyogo H, Kawanaka M, Morishita A, Munekage K, Kawata K, Yamamura S, Sawada K, Maeshiro T, Tobita H, Yoshida Y, Naito M, Araki A, Arakaki S, Kawaguchi T, Noritake H, Ono M, Masaki T, Yasuda S, Tomita E, Yoneda M, Kawada N, Tokushige A, Kamada Y, Takahashi H, Ueda S, Aishima S, Sumida Y, Nakajima A, Okanoue T. Clinical Outcomes in Biopsy-Proven Nonalcoholic Fatty Liver Disease Patients: A Multicenter Registry-based Cohort Study. Clin Gastroenterol Hepatol 21: 370-379, 2023. doi: 10.1016/j.cgh.2022.01.002.	(A)	○

0I23002:	Kobayashi M, Akiyama S, Narasaka T, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Miki K, Watanabe K, Tsuchiya K, Kaise M, Nagata N. Nationwide cohort study identifies clinical outcomes of angioectasia in patients with acute hematochezia. <i>J Gastroenterol</i> 58: 367-378, 2023. doi: 10.1007/s00535-022-01945-w.	(A)	○
123003:	Kami W, Kinjo T, Hashioka H, Arakaki W, Uechi K, Takahashi A, Oki H, Tanaka K, Motooka D, Nakamura S, Nakamatsu M, Maeda S, Yamamoto K, Fujita J. Impact of G29179T mutation on two commercial PCR assays for SARS-CoV-2 detection. <i>J Virol Methods</i> 314: 114692, 2023. doi: 10.1016/j.jviromet.2023.114692.	(A)	○
0I23004:	Nabeya D, Setoguchi M, Ueno S, Kinjo T. Respiratory virus infections of the lower respiratory tract elevate bronchoalveolar lavage eosinophil fraction: a clinical retrospective study and case review. <i>BMC Pulm Med</i> 23: 111, 2023. doi: 10.1186/s12890-023-02402-x.	(A)	○
0I23005:	Hachisu Y, Tamura K, Murakami K, Fujita J, Watanabe H, Tanabe Y, Kuronuma K, Kubota T, Oshima K, Maruyama T, Kasahara K, Nishi J, Abe S, Nakamura M, Kubota M, Hirai S, Ishioka T, Ikenoue C, Fukusumi M, Sunagawa T, Suzuki M, Akeda Y, Oishi K. Invasive <i>Haemophilus influenzae</i> disease among adults in Japan during 2014-2018. <i>Infection</i> 51: 355-364, 2023. doi: 10.1007/s15010-022-01885-w.	(A)	○
0I23006:	Ishiba H, Sumida Y, Kamada Y, Fujii H, Iwaki M, Hayashi H, Toyoda H, Oeda S, Hyogo H, Kawanaka M, Morishita A, Munekage K, Kawata K, Tsutsumi T, Sawada K, Maeshiro T, Tobita H, Yoshida Y, Naito M, Araki A, Arakaki S, Kawaguchi T, Noritake H, Ono M, Masaki T, Yasuda S, Tomita E, Yoneda M, Tokushige A, Takahashi H, Ueda S, Aishima S, Nakajima A, Okanoue T. Noninvasive tests predict liver-related events and mortality in patients with nonalcoholic fatty liver disease: sub-	(A)	○

	analysis of the CLIONE-Asia study. <i>J Gastroenterol Hepatol</i> 38: 896–904, 2023. doi: 10.1111/jgh.16144.		
0I23007:	Yamamoto K, Hosogaya N, Inoue T, Jounai K, Tsuji R, Fujiwara D, Yanagihara K, Izumikawa K, Mukae H. Efficacy of <i>Lactococcus lactis</i> strain plasma (LC-Plasma) in easing symptoms in patients with mild COVID-19: protocol for an exploratory, multicentre, double-blinded, randomised controlled trial (PLATEAU study). <i>BMJ Open</i> 12: e061172, 2022. doi: 10.1136/bmjopen-2022-061172	(A)	○
0I23008:	Otani M, Shiino T, Hachiya A, Gatanaga H, Watanabe D, Minami R, Nishizawa M, Teshima T, Yoshida S, Ito T, Hayashida T, Koga M, Nagashima M, Sadamasu K, Kondo M, Kato S, Uno S, Taniguchi T, Igari H, Samukawa S, Nakajima H, Yoshino Y, Horiba M, Moro H, Watanabe T, Imahashi M, Yokomaku Y, Mori H, Fujii T, Takada K, Nakamura A, Nakamura H, Tateyama M, Matsushita S, Yoshimura K, Sugiura W, Matano T, Kikuchi T. Association of demographics, HCV co-infection, HIV-1 subtypes and genetic clustering with late HIV diagnosis: a retrospective analysis from the Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network. <i>J Int AIDS Soc</i> 26: e26086, 2023. doi: 10.1002/jia2.26086.	(A)	○
0I23009:	Hibiya K, Shinzato A, Iwata H, Kinjo T, Tateyama M, Yamamoto K, Fujita J. Effect of voluntary human mobility restrictions on vector-borne diseases during the COVID-19 pandemic in Japan: A descriptive epidemiological study using a national database (2016 to 2021). <i>PLoS One</i> 18: e0285107, 2023. doi: 10.1371/journal.pone.0285107.	(A)	○
0I23010:	Kishino T, Aoki T, Sadashima E, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Kaise M, Nagata N. Early feeding reduces length of hospital stay in patients with acute lower gastrointestinal bleeding: A large multicentre cohort study. <i>Colorectal Dis</i> 25: 2206–2216, 2023. doi: 10.1111/codi.16751.	(A)	○

OI23011:	Hayasaka J, Kikuchi D, Ishii N, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Miki K, Watanabe K, Odagiri H, Hoteya S, Kaise M, Nagata N. Weekend Effect on Clinical Outcomes of Acute Lower Gastrointestinal Bleeding: A Large Multicenter Cohort Study in Japan. <i>Dig Dis</i> 41: 890-899, 2023. doi: 10.1159/000533744.	(A)	○
OI23012:	Fujita M, Aoki T, Manabe N, Ito Y, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Miki K, Watanabe K, Ayaki M, Murao T, Suehiro M, Shiotani A, Hata J, Haruma K, Kaise M, Nagata N. LONG-HOSP Score: A Novel Predictive Score for Length of Hospital Stay in Acute Lower Gastrointestinal Bleeding - A Multicenter Nationwide Study. <i>Digestion</i> 104: 446-459, 2023. doi: 10.1159/000531646.	(A)	○
OI23013:	Kobayashi M, Akiyama S, Narasaka T, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Tsuchiya K, Kaise M, Nagata N. Multicenter propensity score-matched analysis comparing short versus long cap-assisted colonoscopy for acute hematochezia. <i>JGH Open</i> 7: 487-496, 2023. doi: 10.1002/jgh3.12936.	(A)	○
OI23014:	Sato Y, Aoki T, Sadashima E, Nakamoto Y, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N,	(A)	○

	<p>Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsushashi T, Komaki Y, Maehata T, Tateishi K, Kaise M, Nagata N. Long-term Risks of Recurrence After Hospital Discharge for Acute Lower Gastrointestinal Bleeding: A Large Nationwide Cohort Study. <i>Clin Gastroenterol Hepatol</i> 21: 3258-3269.e6, 2023. doi: 10.1016/j.cgh.2023.05.021.</p>		
0I23015:	<p>Yamauchi A, Ishii N, Yamada A, Kobayashi K, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsushashi T, Komaki Y, Miki K, Watanabe K, Mori Y, Osawa K, Nakagami S, Kawai Y, Yoshikawa T, Kaise M, Nagata N. Outcomes and recurrent bleeding risks of detachable snare and band ligation for colonic diverticular bleeding: a multicenter retrospective cohort study. <i>Gastrointest Endosc</i> 98: 59-72.e7, 2023. doi: 10.1016/j.gie.2023.02.014.</p>	(A)	○
0I23016:	<p>Uno S, Gatanaga H, Hayashida T, Imahashi M, Minami R, Koga M, Samukawa S, Watanabe D, Fujii T, Tateyama M, Nakamura H, Matsushita S, Yoshino Y, Endo T, Horiba M, Taniguchi T, Moro H, Igari H, Yoshida S, Teshima T, Nakajima H, Nishizawa M, Yokomaku Y, Iwatani Y, Hachiya A, Kato S, Hasegawa N, Yoshimura K, Sugiura W, Kikuchi T. Virological outcomes of various first-line ART regimens in patients harbouring HIV-1 E157Q integrase polymorphism: a multicentre retrospective study. <i>J Antimicrob Chemother</i> 78: 2859-2868, 2023. doi: 10.1093/jac/dkad319.</p>	(A)	○
0I23017:	<p>Tashiro M, Sato S, Endo A, Hamashima R, Ito Y, Ashizawa N, Takeda K, Iwanaga N, Ide S, Fujita A, Takazono T, Yamamoto K, Tanaka T, Furumoto A, Yanagihara K, Mukae H, Fushimi K, Izumikawa K. Decreased community-acquired pneumonia coincided with rising awareness of precautions before governmental</p>	(A)	○

	containment policy in Japan. PNAS Nexus 2: pgad153, 2023. doi: 10.1093/pnasnexus/pgad153.		
OI23018:	Mizoguchi S, Tsuchiya T, Doi R, Obata T, Iwatake M, Hashimoto S, Matsumoto H, Yukawa H, Hayashi H, Li TS, Yamamoto K, Matsumoto K, Miyazaki T, Tomoshige K, Nagayasu T. A novel <i>ex vivo</i> lung cancer model based on bioengineered rat lungs. Front Bioeng Biotechnol 11: 1179830, 2023. doi: 10.3389/fbioe.2023.1179830.	(A)	○
OI23019:	Shimada M, Taniguchi H, Yamaguchi H, Gyotoku H, Sasaki D, Kaku N, Senju C, Senju H, Imamura E, Takemoto S, Yamamoto K, Sakamoto N, Obase Y, Tsuchiya T, Fukuda M, Soda H, Ashizawa K, Fukuoka J, Nagayasu T, Yanagihara K, Mukae H. Genetic profile of thymic epithelial tumors in the Japanese population: an exploratory study examining potential therapeutic targets. Transl Lung Cancer Res 12: 707-718, 2023. doi: 10.21037/tlcr-22-794.	(A)	○
OI23020:	Tanaka T, Tashiro M, Ota K, Fujita A, Sawai T, Kadota J, Fukuda Y, Sumiyoshi M, Ide S, Tachikawa N, Fujii H, Hibino M, Shiomi H, Izumida M, Matsui K, Yamauchi M, Takahashi K, Yamanashi H, Sugimoto T, Akabame S, Umeda M, Shimizu M, Hosogaya N, Kosai K, Takeda K, Iwanaga N, Ashizawa N, Hirayama T, Takazono T, Yamamoto K, Imamura Y, Iiyazaki T, Kobayashi Y, Ariyoshi K, Mukae H, Yanagihara K, Kita K, Izumikawa K. Safety and efficacy of 5-aminolevulinic acid phosphate/iron in mild-to-moderate coronavirus disease 2019: A randomized exploratory phase II trial. Medicine 102: e34858, 2023. doi: 10.1097/MD.00000000000034858.	(A)	○
OI23021:	Miyazaki T, Fukushima K, Hashiguchi K, Ide S, Kobayashi T, Sawai T, Yatera K, Kohno Y, Fukuda Y, Futsuki Y, Matsubara Y, Koga H, Mihara T, Sasaki E, Ashizawa N, Hirayama T, Takazono T, Yamamoto K, Imamura Y, Kaku N, Kosai K, Morinaga Y, Yanagihara K, Mukae H. A high α 1-antitrypsin/interleukin-10 ratio predicts bacterial pneumonia in adults with community-acquired pneumonia: a prospective cohort study. Pneumonia 15: 16, 2023. doi: 10.1186/s41479-023-00118-4.	(A)	○
OD23001:	古賀絵莉香, 伊良波淳, 金城 徹: 当院における潰瘍性大腸炎関連大腸癌に関する検討. 日本大腸検査学会雑誌, 40, 13-19, 2023.	(B)	○
OD23002:	友成航平, Saruuljavkhlan Batsaikhan, Ricky Indra Alfaray, Kartika Afrida Fauzia, 松成 修, 赤田純子, 松本 昂, 珍田大	(B)	○

	輔, 下山 克, 金城 渚, 金城 徹, 金城福則, 山岡吉生: 日本国内より分離され Helicobacter pylori の集団構造解析. 大分県医学会雑誌, 29: 99-107, 2023.		
症例報告			
CI23001:	Arakaki S, Ono S, Kawamata F, Ishino S, Uesato Y, Nakajima T, Nishi Y, Morishima S, Arakaki S, Maeshiro T, Sour i M, Ichinose A, Masuzaki H, Takatsuki M. Fatal acquired coagulation factor V deficiency after hepatectomy for advanced hepatocellular carcinoma as a possible immune checkpoint inhibitor-related adverse event: a case report. Surg Case Rep 9: 16, 2023. doi: 10.1186/s40792-023-01601-2.	(A)	○
CI23002:	Kami W, Baba M, Chinen T, Fujita J. Large Lung Abscess Caused by Fusobacterium nucleatum. Intern Med 62: 3721, 2023. doi: 10.2169/internalmedicine.1751-23.	(A)	○
CI23003:	Ishimoto H, Sakamoto N, Ozasa M, Katoh T, Itonaga H, Wataya M, Takao D, Hara A, Kido T, Yamaguchi H, Yamamoto K, Obase Y, Ishimatsu Y, Miyazaki Y, Mukae H. Pulmonary Langerhans Cell Histiocytosis That Progressed from a Single-system to a Multisystem Form despite Smoking Cessation. Intern Med 62: 877-880, 2023. doi: 10.2169/internalmedicine.0139-22.	(A)	○
CD23001:	金城武士: 大酒家や糖尿病患者に発症した大葉性肺炎の起炎菌と云えば?. 画像診断道場, 金井信恭 (編), 52.156-157, 日本医事新報社, 2023.	(C)	×
CD23002:	鈴木英章, 金城 徹, 外間 昭, 田村 元: 結腸に多発小病変として認めた inflammatory fibroid polyp の1例. Gastroenterological Endoscopy 65: 1123-1127, 2023. 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会.	(B)	○
総説			
RD23001:	金城 徹: 炎症性腸疾患. アウトカムを改善するステロイド治療戦略. 岩波慶一 (編), 159-172, 日本医事新報社, 2023.	(C)	×
RD23002:	古堅 誠, 山本和子: 喫煙習慣に関連するがん 肺がんにおける疫学・病態を中心に. 医学のあゆみ, 白石泰夫 (編), 286, 812-816, 医歯薬出版株式会社, 2023.	(C)	×
国際学会発表			
PI23001:	Kazuko Yamamoto. Host backgrounds and outcomes associating co-infections with SARS-CoV-2. U.S-Japan Cooperative Medical Sciences Program (USJCMS) International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID) in the Pacific Rim, 2023		

PI23002:	Naoya Nishiyama, Kohei Uechi, Wakako Arakaki, Takeshi Kinjo, Kazuko Yamamoto. Genomic analysis of metallo- β -lactamase producing <i>Aeromonas dhakensis</i> by nanopore sequencing. APCCMI 2023. 2023.
PI23003:	Daijiro Nabeya, Takeshi Kinjo, Wakako Arakaki, Wakaki Kami, Hiroe Hashioka, Naoya Nishiyama, Tomoo Kishaba, Kazuko Yamamoto. Detection of respiratory viruses in patients with aspiration pneumonia: a retrospective study. ERS International Congress 2023. 2023.
PI23004:	Naoya Nishiyama, Wakako Arakaki, Kohei Uechi, Daisuke Utsumi, Yukuto Sato, Masashi Nakamatsu, Takeshi Kinjo, Kazuko Yamamoto. Prevalence and Genomic Analysis of Hypermucoviscous <i>Klebsiella pneumoniae</i> in a Single Center in Japan: Insights into Virulence and Potential Clinical Implications. IDWeek 2023. 2023.
PI23005:	Kazuko Yamamoto, Tsuyoshi Inoue, Kenta Jounai, Ryohei Tsuji, Daisuke Fujiwara, Naoki Iwanaga, Takaya Ikeda, Toyomitsu Sawai, Yosuke Nagayoshi, Koji Hashiguchi, Yohji Futsuki, Yuichi Matsubara, Naoki Hosogaya, Katsunori Yanagihara, Koichi Izumikawa, Hiroshi Mukae. Effect of <i>Lactococcus lactis</i> strain plasma (LC-Plasma) on immune response and symptoms in patients with mild COVID-19. Result of the multicenter, double-blinded, randomized controlled trial (PLATEAU study). IDWeek 2023. 2023.
PI23006:	W. Arakaki, T. Kinjo, W. Kami, H. Hashioka, H. Nagano, Y. Matsumoto, S. Nakamura, K. Yamamoto. Development of Subspecies-level Identification and Drug Resistance Prediction System for <i>Mycobacterium Abscessus</i> Species Using Multi-locus Sequence Typing. ATS 2023. 2023.
PI23007:	T. Kinjo, K. Morimoto, M. Yoshida, J. Chien, K. Fujiwara, T. Asakura, H. Nagano, A. Aono, Y. Murase, Y. Morishige, R. Jou, N. Hasegawa, Y. Hoshino, M. ato, P. Hsueh, S. Mitarai. Clinical Features of Dominant Circulating Clones of <i>Mycobacterium Abscessus</i> Species in Non-cystic Fibrosis Patients in Japan and Taiwan. ATS 2023. 2023.
PI23008:	K. Yamamoto, T. Akiyama, N. Matsunaga, S. Tsuzuki, Y. Asai, Y. Tanaka, N. Iwanaga, M. Tashiro, K. Izumikawa, K. Yanagihara, N. Ohmagari, H. Mukae. Bacterial Coinfections in COVID-19

	Patients With Acute Respiratory Failure: Japan National Registry Survey. ATS 2023. 2023.		
PI23009:	Kazuko Yamamoto, Yuichi Fukuda, Toyomitsu Sawai, Shotaro Ide, Yusuke Mori, Kohji Hashiguchi, Hiroshi Ishii, Yoji Futsuki, Naoki Iwanaga, Naoki Hosogaya, Noriho Sakamoto, Haruo Yoshida, Yuki Takamatsu, Kenji Ota, Koichi Izumikawa, Katsunori Yanagihara, Hiroshi Mukae. Efficacy of clarithromycin in patients with mild COVID-19 pneumonia patients: an exploratory, multicenter, open-label, randomized controlled trial. APSR 2023. 2023.		
PI23010:	Takeshi Kinjo, Hiroaki Nagano, Wakako Arakaki, Hiroe Hashioka, Nanae Ikemiyagi, Tomoko Yamashiro, Yuki Matsumoto, Shota Nakamura, Jiro Fujita, Kazuko Yamamoto. Unique epidemiology of non-tuberculous mycobacterial pulmonary disease in Okinawa, Japan. APSR 2023. 2023.		
PI23011	H. Nakamura, N. Ikemiyagi, W. Arakaki, K. Yamamoto. Neurocognitive impairment, and anxiety symptoms may influence the development of prefrailty/frailty in Japanese people living with HIV aged over 40 years. 19th European AIDS Clinical Society (EACS) Conference, Warsaw, Poland. 2023.		
学会発表			
PD23001:	宮里卓行, 黒島洋平, 富田有香, 瑞慶山隆太, 田端そうへい, 宮里公也, 溜田茂仁, 新垣伸吾, 前城達次, 山本和子: 超音波内視鏡下穿刺吸引法にて診断確定に至ったびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例. 第340回日本内科学会九州地方会, 2023.		
PD23002:	山里雄飛, 伊良波淳, 山本和子, 古賀絵莉香, 大石有衣子, 大平哲也, 金城 徹: セベラマー塩酸塩による難治性胃潰瘍をきたした1例. 第340回日本内科学会九州地方会, 2023.		
PD23003:	大槻真理子, 鍋谷大二郎, 宮城一也, 和田直樹, 山本和子: 気管支肺胞洗浄液所見に乏しく経気管支肺生検にて診断した続発性肺胞蛋白症の1例. 第63回日本肺癌学会九州支部学術集会 第46回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会, 2023.		
PD23004:	山里将慎, 高江洲壮, 古堅 誠, 長谷川知彦, 瑞慶山春花, 大槻真理子, 瀬戸口倫香, 兼久 梢, 池宮城七重, 山城朋子, 新垣若子, 鍋谷大二郎, 宮城一也, 原永修作, 山本和子: 悪性胸膜中皮腫増悪が示唆された横隔膜下腫瘤性病変に対して局所的治療を追加することでニボルマブ投与継続が可能であった1例. 第63回日本肺癌学会九州支部学術集会 第46回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会, 2023.		

PD23005:	池宮城七重, 宮城一也, 新垣若子, 金城武士, 山本和子: 肺結核治療中に両側肺の浸潤影を呈した急性型成人 T 細胞性白血病の 1 例. 第 63 回日本肺癌学会九州支部学術集会 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会, 2023.		
PD23006:	長谷川知彦, 鍋谷大二郎, 瑞慶山春花, 瀬戸口倫香, 山城朋子, 池宮城七重, 金城武士, 古堅 誠, 宮城一也, 屋良さとみ, 山本和子: 喘息発作の臨床像と COVID-19 を含めた呼吸器ウイルス感染症との関連性の検討. 第 90 回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部 春季学術講演会, 2023.		
PD23007:	金城 徹: 小腸出血に対するカプセル内視鏡検査の有用性. 第 59 回日本腹部救急医学会総会, 2023.		
PD23008:	石井恭平, 高江洲壮, 鍋谷大二郎, 大槻真理子, 兼久 梢, 山里将慎, 古堅 誠, 宮城一也, 原永修作, 山本和子: 治療抵抗性の嚥下障害を合併した抗 MDA5 抗体陽性間質性肺炎の 1 例. 第 90 回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部 春季学術講演会, 2023.		
PD23009:	仲松正司, 西山直哉, 上地あゆみ, 中野安実, 上地幸平, 潮平英郎, 座間味丈人, 山本和子: 当院における NTM による PD 関連感染の検討. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23010:	西山直哉, 仲松正司, 新垣若子, 上地幸平, 鍋谷大二郎, 金城武士, 山本和子: Fluconazole 耐性 Candida parapsilosis によるカテーテル関連血流感染の一例. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23011:	池宮城七重, 金城武士, 上野志穂, 喜友名朋, 新垣若子, 鍋谷大二郎, 宮城一也, 山本和子: 当院における咽頭喉頭結核 3 症例の検討. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23012:	仲村秀太, 高江洲壮, 鍋谷大二郎, 金城武士, 宮城一也, 山本和子: 当院におけるビクトルビ (BVY) 配合錠の有用性および安全性に関する検討. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23013:	金城武士: 呼吸器感染症による敗血症の現状と課題. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23014:	金城武士, 森本耕三, 朝倉崇徳, 長野宏昭, 青野昭男, 長谷川直樹, 星野仁彦, 阿戸 学, 御手洗聡: Mycobacterium abscessus species 優勢流行クローンが検出される患者背景の検討: 日台国際共同研究		

	の臨床解析. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23015:	山本和子: 細菌叢と免疫. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23016:	宮城一也, 原永修作, 金城武士, 鍋谷大二郎, 池宮城七重, 山里将慎, 山城朋子, 兼久 梢, 山本和子: コロナ禍でも継続可能なよりよい臨床実習を目指して-臨床実習後 OSCE を見据えて-. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会, 2023.		
PD23017:	鍋谷大二郎, 喜舎場朝雄, 金城武士, 上 若生, 橋岡寛恵, 新垣若子, 宮城一也, 山本和子: 急性期病院における呼吸器ウイルス感染症: 疾患別の検出頻度と患者背景の検討. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会, 2023.		
PD23018:	新垣若子, 金城武士, 橋岡寛恵, 上 若生, 仲村秀太, 古堅 誠, 宮城一也, 原永修作, 山本和子, 藤田次郎: 当院における妊婦の新型コロナウイルス感染症の臨床像および画像所見の検討. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会, 2023.		
PD23019:	山本和子: 肺炎球菌感染症の病態を踏まえた予防戦略. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会, 2023.		
PD23020:	山本和子: 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ 3 年間のシーズンを振り返って. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会, 2023.		
PD23021:	山本和子: 肺炎球菌感染症の課題と予防戦略. 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 71 回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023.		
PD23022:	志喜屋好令, 黒島洋平, 潮平朝成, 盛島明丈, 富田有香, 瑞慶山隆太, 嵩原小百合, 古賀絵莉香, 大石有衣子, 田端そうへい, 宮里公也, 溜田茂仁, 桑江 聡, 大平哲也, 伊良波淳, 新垣伸吾, 金城徹, 前城達次, 山本和子: 治療に難渋した多剤耐性 B 型慢性肝炎の一例. 第 121 回日本消化器病学会九州支部例会 第 115 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23023:	溜田茂仁, 黒島洋平, 潮平朝成, 盛島明丈, 志喜屋好令, 瑞慶山隆太, 嵩原小百合, 古賀絵莉香, 大石有衣子, 田端そうへい, 宮里公也, 大平哲也, 伊良波淳, 新垣伸吾, 金城徹, 前城達次: Pork-cat syndrome による豚肉アレルギーが原因と考えられる急性膵炎を繰り返した一症例. 第 121 回日本消化器病学会九州支部例会 第 115 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23024:	瑞慶山隆太, 黒島洋平, 潮平朝成, 志喜屋好令, 富田有香, 盛島明丈, 嵩原小百合, 古賀絵莉香, 大石有衣子, 田端そうへい, 宮里公也, 溜田茂仁, 大平哲也, 伊良波淳, 新垣伸吾, 金城 徹, 前城達次, 星野訓一, 山本和子: 10 年以上の経過で急性増大した異所性膵		

	の一例. 第 121 回日本消化器病学会九州支部例会 第 115 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23025:	國吉健太, 久田友哉, 名嘉山裕子, 知花賢治, 藤田香織, 仲本 敦, 比嘉 太, 大湾勤子, 山本和子: 結節影を呈し悪性腫瘍・抗酸菌感染症との鑑別を要した肺ノカルジア症の 1 例. 第 341 回九州地方会, 2023.		
PD23026:	高江洲壮, 鍋谷大二郎, 金城武士, 長谷川知彦, 知花 凜, 大槻真理子, 兼久 梢, 喜友名朋, 山里将慎, 山城朋子, 池宮城七重, 古堅 誠, 宮城一也, 原永修作, 山本和子: 肺癌に合併した髄膜癌腫症 11 例の検討: 全脳照射の適応に関する考察. 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会, 2023.		
PD23027:	新垣伸吾, 髙原小百合, 溜田茂仁, 田端そうへい, 宮里公也, 前城達次, 山本和子, 上里安範, 大野慎一郎, 高槻光寿: 止血困難のため急性硬膜下血種の治療に難渋したアルコール性肝硬変に対して生体肝移植を施行した 1 例. 第 41 回日本肝移植学会学術集会, 2023.		
PD23028:	田端そうへい, 新垣伸吾, 高槻光寿: 肝移植後患者の飲酒調査. 第 59 回日本肝臓学会総会, 2023.		
PD23029:	瀬戸口倫香, 宮城一也, 田里大輔, 松本美幸, 鍋谷大二郎, 金城武士, 山本和子: 孤発する肺腫瘤影で発見され, 経気管支生検 (TBB) にて診断しえた IgG4 関連呼吸器疾患の一例. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2023.		
PD23030:	西山直哉, 上地あゆみ, 上地幸平, 鈴木聡美, 渡慶次道太, 眞榮城咲子, 仲松正司: コロナ禍における予定入院患者に対する SARS-CoV-2 PCR 検査の陽性率の推移. 第 38 回日本環境感染学会総会・学術集会, 2023.		
PD23031:	瑞慶山春花, 井手口周平, 山入端一貴, 仲村秀太, 大槻真理子, 山里将慎, 西山直哉, 仲松正司, 宮城一也, 山本和子: 九州・沖縄地区において初めて確認され, 皮膚症状の相違を認めた直腸炎を伴うサル痘 (mpox) の 2 症例. 第 342 回日本内科学会九州地方会, 2023.		
PD23032:	盛島明丈, 金城 徹, 山本和子, 宮里卓行, 山里雄飛, 志喜屋好令, 黒島洋平, 瑞慶山隆太, 髙原小百合, 古賀絵莉香, 溜田茂仁, 宮里公也, 大石有衣子, 田端そうへい, 大平哲也, 伊良波淳, 新垣伸吾: 直腸癌精査の下部消化管内視鏡検査にて, 偶発的に発見された糞線虫症の 1 例. 第 30 回日本大腸検査学会九州支部会, 2023.		
PD23033:	山里将慎, 鍋谷大二郎, 長谷川知彦, 新垣若子, 宮城一也, 原永修作, 玉城智子, 山本和子: 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と鑑別を要した好酸球増多症の 1 例. 第 72 回日本アレルギー学会学術大会, 2023.		

PD23034:	瑞慶山春花, 井手口周平, 金城貴夫, 瀬戸口倫香, 山入端一貴, 山里将慎, 大石有衣子, 鍋谷大二郎, 宮城一也, 山本和子: 両肺の癌性リンパ管症による慢性咳嗽を初発症状とした低分化型胃癌の一例, 第 91 回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会, 2023.		
PD23035:	宮城一也, 井手口周平, 鍋谷大二郎, 山里将慎, 池宮城七重, 山城朋子, 仲村秀太, 金城武士, 原永周作, 山本和子: 新型コロナウイルス感染症流行第 9 波における琉球大学病院での外来抗ウイルス薬と入院リスクの検討. 第 91 回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会, 2023.		
PD23036:	古堅 誠, 山城朋子, 兼久 梢, 瀬戸口倫香, 宇治宮露, 池宮城七重, 山里将慎, 新垣若子, 鍋谷大二郎, 宮城一也, 山本和子: 当院でアレクチニブを導入した ALK 陽性非小細胞肺がんの効果・後治療に関する検討. 第 64 回日本肺癌学会学術集会, 2023.		
PD23037:	金城 徹, 黒島洋平, 志喜屋好令, 潮平朝成, 盛島明丈, 瑞慶山隆太, 古賀絵莉香, 大石有衣子, 高原小百合, 溜田茂仁, 田端そうへい, 宮里公也, 大平哲也, 伊良波淳, 新垣伸吾, 前城達次, 金城福則, 山本和子: 沖縄県の大腸がん検診の現状と課題. 第 31 回日本消化器関連学会週間, 2023.		
PD23038:	岡田佳祐, 西山直哉, 新垣若子, 仲松正司, 金城武士, 山本和子: 過粘稠性 Klebsiella pneumoniae 菌血症の臨床像と分離菌の string test の有用性: ゲノム病原因子の解析より. 第 93 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第 71 回日本化学療法学会西日本支部総会, 2023.		
PD23039:	鍋谷大二郎, 椎木創一, 新垣若子, 高江洲壮, 宮城一也, 金城武士, 喜舎場朝雄, 山本和子: COVID-19 第一波における潜在的感染: 沖縄県立中部病院における検討. 第 93 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第 71 回日本化学療法学会西日本支部総会, 2023.		
PD23040:	新垣若子, 金城武士, 橋岡寛恵, 上 若生, 長野宏昭, 松本悠希, 中村昇太, 山本和子: 沖縄県における肺 NTM 症の疫学調査および mlstverse を用いた臨床分離株の解析. 第 7 回抗酸菌研究会, 2023.		
PD23041:	仲村秀太, 高江洲壮, 前田サオリ, 宮城京子, 大田久美子, 上原仁, 諸見里牧子, 饒平名聖, 新里尚美, 石郷岡美穂, 上 薫, 金城隆展, 山本和子: 当院通院中の PLWH (People Living With HIV) におけるフレイル有病率とその関連因子に関する検討. 第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2023.		
PD23042:	國吉健太, 山城朋子, 仲村秀太, 知念重希, 瀬戸口倫香, 西山真央, 新垣若子, 鍋谷大二郎, 山本和子: カポジ肉腫の治療中に HHV-8 関		

	連多中心性キャスルマン病の発症が疑われた一例. 第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2023.		
PD23043:	前城達次, 新垣伸吾, 田端そうへい, 山本和子, 砂川綾美: 肝疾患の成因が特徴的な地域である沖縄県におけるメディカルスタッフへ支援について. 第 122 回日本消化器病学会九州支部例会 第 116 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23044:	田端そうへい, 髙原小百合, 溜田茂仁, 宮里公也, 新垣伸吾: 沖縄県における MASLD, Met-ALD および ALD の特徴. 第 122 回日本消化器病学会九州支部例会 第 116 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23045:	黒島洋平, 山里雄飛, 伊良波淳, 田端そうへい, 新垣伸吾, 宮里卓行, 志喜屋好令, 盛島明丈, 髙原小百合, 瑞慶山隆太, 古賀絵莉香, 大石有衣子, 溜田茂仁, 宮里公也, 大平哲也, 金城 徹, 和田直樹, 山本和子: 腸閉塞症状で判明した空腸の濾胞性リンパ腫の 1 例. 第 122 回日本消化器病学会九州支部例会 第 116 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23046:	大石有衣子, 黒島洋平, 志喜屋好令, 盛島明丈, 瑞慶山隆太, 髙原小百合, 古賀絵莉香, 溜田茂仁, 田端そうへい, 宮里公也, 大平哲也, 伊良波淳, 新垣伸吾, 金城 徹, 山本和子, 和田直樹: 免疫抑制剤使用中に発症した大腸 Epstein-Barr virus 関連リンパ増殖性疾患の 1 例. 第 122 回日本消化器病学会九州支部例会 第 116 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23047:	瑞慶山隆太, 大石有衣子, 伊良波淳, 新垣伸吾, 金城 徹: 男性医師の育児休業取得と働き方の見直し. 第 122 回日本消化器病学会九州支部例会 第 116 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23048:	宮里卓行, 山里雄飛, 志喜屋好令, 黒島洋平, 盛島明丈, 瑞慶山隆太, 髙原小百合, 古賀絵莉香, 大石有衣子, 田端そうへい, 宮里公也, 溜田茂仁, 大平哲也, 伊良波淳, 新垣伸吾, 金城 徹, 山本和子: Alagille 症候群が強く疑われる若年男性に肝細胞癌併発を認められた 1 例. 第 122 回日本消化器病学会九州支部例会 第 116 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23049:	金城 徹: 日本消化器病学会九州支部 第 28 回専門医セミナー. 第 122 回日本消化器病学会九州支部例会 第 116 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23050:	新垣伸吾, 髙原小百合, 田端そうへい, 星野訓一, 溜田茂仁, 前城達次, 山本和子, 宮里 賢, 富里孔太, 仲吉朝邦, 圓若修一, 佐久川廣: 沖縄県における肝硬変の成因別実態. 第 59 回日本肝臓学会総会, 2023.		

PD23051:	古賀絵莉香, 大石有衣子, 大平哲也, 伊良波淳, 金城 徹: 当院における思春期の炎症性腸疾患患者の診療と今後の課題. 第121回日本消化器病学会九州支部例会 第115回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023.		
PD23052:	大平哲也: 大腸内視鏡検査前処置のリスクとアセスメント. 第84回九州消化器内視鏡技師学会, 2023.		
PD23053:	知念重希, 山城朋子, 和田直樹, 瀬戸口倫香, 西山真央, 鍋谷大二郎, 井手口周平, 古堅 誠, 宮城一也, 山本和子: 超音波気管支鏡ガイド下針生検 (EBUS-TBNA)にて診断しえた悪性胸膜中皮腫の1例. 第91回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会, 2023.		
PD23054:	山本和子: 新型コロナウイルスのプラネタリーヘルス. 第82回日本人口学会九州地域部会, 2023.		
PD23055:	山本和子: COVID-19 治療の変遷とこれからの主役. 第76回日本薬理学会西南部会, 2023.		
PD23056:	山本和子: 「沖縄の環境とウイルス感染症の流行との関係」. 第76回日本薬理学会西南部会, 2023.		
PD23057:	山本和子: 高齢者肺炎のマネジメント. 第69回信越支部生涯教育講演会, 2023.		
PD23058:	山本和子: 女性のキャリアと社会が調和する時代を目指して. 第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第71回日本化学療法学会西日本支部総会, 2023.		
その他の刊行物			
MI23001:	Ohira T, Hokama A. Duodenal nodularity with villous flattening in common variable immunodeficiency. Rev Esp Enferm Dig 115: 53-54, 2023. doi: 10.17235/reed.2022.9014/2022.		○
MI23002:	Hokama A. Endoscopic findings of radiation ileitis. Rev Esp Enferm Dig 115: 144, 2023. doi: 10.17235/reed.2022.9036/2022.		○
MI23003:	Hokama A, Iraha A. Jejunal lymphangioma. Rev Esp Enferm Dig 115: 103-104, 2023. doi: 10.17235/reed.2022.9088/2022.		○
MI23004:	Oishi Y, Hokama A. Transparent cap-assisted endoscopic retrieval of a sharp foreign body in the esophagus. Rev Esp Enferm Dig 115: 199, 2023. doi: 10.17235/reed.2022.9059/2022.		○
MI23005:	Hokama A, Iraha A. Comb sign in Crohn's disease. Rev Esp Enferm Dig 115: 205, 2023. doi: 10.17235/reed.2022.9132/2022.		○
MI23006:	Hokama A, Iraha A. Chinese dragon sign of ulcerative colitis. Rev Esp Enferm Dig 115: 207-208, 2023. doi:		○

	0. 17235/reed. 2022. 9154/2022.		
MD23001:	仲村秀太: 梅毒診断時にはHIV抗原抗体検査を. 沖縄県医師会報, 宮里達也(編), 58. 59: 46, 2023.		×
MD23002:	金城 徹: 第29回日本大腸検査学会九州支部会 会長報告. JSCE-Q 令和4年度会報 1, 2023.		×
MD23003:	新垣伸吾: 日本肝炎デーに因んで。「どうする沖縄の肝疾患」. 沖縄医報, 59, 22(476)-24(478), 2023.		×

C. 受入研究費による研究課題

1. 令和5年度日本学術振興会 科学研究費助成事業による研究

研究代表者	研究種目	助成金額 (千円)	研究課題
金城武士 (代表者:大阪大学 中村昇太)	国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化B)	期間延長	インドネシアに流行する抗酸菌のゲノム疫学研究
金城武士	基盤研究(C)	1,560	ゲノム解析による非結核性抗酸菌の高精度迅速同定および薬剤感受性判定システムの開発
鍋谷大二郎 (代表者:琉球大学 金城武士)	基盤研究(C)	240	ゲノム解析による非結核性抗酸菌の高精度迅速同定および薬剤感受性判定システムの開発
山本和子	基盤研究(C)	1,200	hsdS 遺伝子組換え膜光透過性固定株を用いた侵襲性肺炎球菌感染症のメカニズム解明

2. 厚生労働省からの受託研究

研究代表者	研究事業名	助成金額 (千円)	研究課題
仲村秀太 (代表者:国立感染 研究所 菊池 正)	感染症実用化研究事業	517	国内流行 HIV 及びその薬剤耐性株の長期動向把握に関する研究
仲村秀太 (代表者:大阪青山 大学 塩野徳史)	エイズ対策政策研究事業	1,000	コミュニティーを活用した MSM に対する HIV 感染症の有効な普及啓発方法に関する研究
仲村秀太	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	3,900	エムボックスの治療・予防体制の整備に関する研究開発
新垣伸吾 (代表者:ロコモデ ィカル総合研究所 江口有一郎)	肝炎等克服政策研究事業	1,500	多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究
仲松正司 (代表者:国立感染 症研究所 明田幸 宏)	厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症及び 予防接種政策推進研究	450	成人の侵襲性細菌感染症サーベイランス強化のための研究

事業)

3. 日本医療研究開発機構 (AMED) による研究

研究代表者	研究事業名	助成金額 (千円)	研究課題
山本和子	地球規模保健課題解決 推進のための研究事業	10,000	COVID-19 における SARS-CoV-2 特異的な気道粘膜 免疫システムと重症度との関連性の解明

4. その他の公的機関からの研究費

研究代表者	助成事業者名	助成金額 (千円)	研究課題
山本和子	長崎大学	1,000	ELISPOT を用いた COVID-19 患者の末梢血単核球イ ンターフェロン γ 遊離解析と SARS-CoV2 ウイルス のもつ抗酸菌特異抗原類似蛋白の同定
仲村秀太	沖縄県	917	沖縄県エイズ治療拠点病院研修委託
仲村秀太	沖縄県	6,000	沖縄県感染症診療ネットワーク事業
仲村秀太	国立病院機構九州医療 センター	179	HIV 診療医師情報網支援事業
仲村秀太	エイズ予防財団	675	HIV 感染者等保健福祉相談事業
新垣伸吾	沖縄県	934	肝疾患診療連携拠点病院事業
新垣伸吾	国立国際医療研究セン ター	801	肝炎情報センター戦略的強化事業
金城武士 (代表者:大阪大学 中村昇太)	大阪大学微生物病研究 所共同研究課題(特定課 題)	500	非結核性抗酸菌症の迅速・高精度同定法の臨床応 用
山本和子	琉球大学	1,200	COVID-19 エンデミック下の免疫細胞分子解析と 再感染リスク因子の検討
仲村秀太	琉球大学	800	日本人 PLWH (People Living with HIV) における フレイルの疫学および病態解明—HIV 感染がもた らす腸内細菌叢の変化はフレイル進展にどう関与 するのか?—
井手口周平	琉球大学	500	沖縄県の新型コロナウイルス感染症の新たな重症 化リスク因子の検討と血清抗体価との関連性の評 価
金城 徹	大分大学	1,000	沖縄県離島患者を対象としたヘリコバクター・ピ ロリのゲノム解析研究

5. その他の民間機関からの研究費

研究代表者	助成事業者名	助成金額 (千円)	研究課題
山本和子	キリンホールディング ス株式会社	85,300	新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 患者に対する L. lactis strain Plasma(プラズマ乳酸菌)を用いた症状緩和効果についての検証～無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験～(PLATEAU study)
山本和子 (代表者:長崎大学 迎 寛)	大正製薬	51,210	酸素投与不要な COVID-19 肺炎患者に対するクラリスロマイシンの有効性を探索するランダム化非盲検 3 群間比較試験(CAME COVID study)
山本和子	Fisher & Paykel Healthcare	7,660	COVID-19 呼吸不全患者の予後および合併症回避における high flow nasal cannula(HFNC)療法の有効性の検討(SAVE COVID study)
山本和子	NPO 法人「長崎県地域医療の研究支援を目的とした医師団」研究助成金	500	長崎県の重症熱性血小板減少症候群(SFTS) とそれ以外のダニ媒介感染症の鑑別スコアリング法の確立と予後因子を明らかにする研究
金城武士	株式会社リニカル	372	SARS-CoV-2 感染者に誘導された抗体の感染防御能と交叉免疫性解析 (研究プロジェクト)
金城 徹	オリンパスメディカル システムズ株式会社	105	分析サービスの市場性、視認性、操作性評価に関する業務
宮里 公也	朝日インテックJセール ス株式会社	50	Fielder25 ユーザーフィードバック
山本和子	塩野義製薬株式会社	1,330	症候性 COVID-19 患者の家庭内同居者を対象とした、SARS-CoV-2 感染症予防における S-217622 の有効性及び安全性を評価する第 3 相無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験